

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・項目「職員を育てる取り組み」として、法人内でのOJTとOFF-JTの取り組みが出来ていない部分への検討を課題とする。 ・入居者に対するケアの質を挙げられていないため改善への検討。 ・職員の入れ替わりもあり、理念が浸透できておらず、再度職員と考えていく必要がある。	職員一人一人が個々に目標・課題を持ち理念に沿ったケアの充実を図る。	・基本的理念の共有を図れるように、ミーティングでの個別事例を通じての学習や小グループでの事例検討等具体的に症例を通じて理解を深める。 ・リーダーを中心に職員のスーパービジョンの機会を定期的につつ。	2年ヶ月
2	4	項目「市町村との連携」の中で、村の5事業所と関係を更に深めることが課題	中川村の5事業所と共に関係が深められるようにする	・5事業所が連携を図れるように定期的な話し合いを持ちながら、それぞれの強みを生かせる展開が図れるよう具体的な取り組みに繋げる。	2年ヶ月
3	48	項目「役割・楽しみの支援」一人一人の生活歴を生かした役割や楽しみなどが日常のケアに取り入れられていないところがあり、課題として挙げられる。	担当を中心に、一人一人の生活歴を更に深く知りケアに生かす。	・現在、作業療法士の個々の支援計画を導入し、支援にあたっている。今まで、継続してきた傾聴に加え、入居者個々のニーズを把握しながら、OTの計画に深め具体的な個別支援計画を考えていく。	2年ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。